

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)

【公開番号】特開 2001-245144 (P2001-245144A)

【公開日】平成 13 年 9 月 7 日 (2001.9.7)

【出願番号】特願 2000-53425 (P2000-53425)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 1/40

B 4 1 J 5/30

G 0 3 G 21/04

G 0 6 T 1/00

H 0 4 N 1/387

【F I】

H 0 4 N 1/40 Z

B 4 1 J 5/30 Z

H 0 4 N 1/387

G 0 3 G 21/00 5 5 0

G 0 6 F 15/66 B

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 10 日 (2003.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像の一部の画像データに含まれる電子透かしから前記画像が特定画像であるか第 1 の識別し、

前記第 1 の識別結果に応じて、前記画像に応じた印刷処理開始後、前記画像の一部より多い画像データに含まれる電子透かしから前記画像が特定画像であるか第 2 の識別し、  
前記第 2 の識別結果、前記画像の印刷を制御することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 2】

前記画像の一部の画像データとは、前記画像を間引いた画像データであることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 3】

前記第 1 の識別結果、前記第 1 の画像が特定画像でないと識別された場合、前記第 2 の識別は行わないことを特徴とする請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 4】

前記画像の一部より多い画像データとは、間引きを行わない画像データであることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 5】

前記第 1 の識別は、プリンタドライバによるソフト処理で行われることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 6】

前記第 2 の識別結果、前記画像が特定画像であることが識別された場合、前記画像の印刷終了割り込みが行われることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 7】

前記第２の識別結果、前記画像が特定画像であると識別された場合、前記画像の印刷指示をだしたホストから以後受け付けるプリント動作に対して、前記一部の画像データを用いた識別を行うことなく、前記全体の画像データを用いた識別を行うことを特徴とする請求項１記載の画像処理方法。

【請求項８】

前記印刷は、解像度、諧調の少なくとも一方を落とすもしくは、別の画像を付加した印刷であることを特徴とする請求項１記載の画像処理方法。

【請求項９】

前記第２の識別結果、前記画像が特定画像であると識別された場合、前記画像の印刷指示をだしたホストから以後受け付けるプリント動作に対して、印刷を拒否することを特徴とする請求項１記載の画像処理方法。

【請求項１０】

画像の一部の画像データに含まれる電子透かしから前記画像が特定画像であるか第１の識別し、

前記第１の識別結果に応じて、前記画像の一部より多い画像データに含まれる電子透かしから前記画像が特定画像であるか第２の識別し、

前記第２の識別結果、前記画像の印刷を制御し、

前記第２の識別結果、前記画像が特定画像であるとし機別された場合、前記画像の印刷指示をだしたホストから以後受け付けるプリント動作に対して、前記一部の画像データを用いた識別を行うことなく、前記全体の画像データを用いた識別を行うことを特徴とする画像処理方法。

【請求項１１】

前記請求項１から１０記載の画像処理方法を行う画像処理装置。

【請求項１２】

前記請求項１から１０記載の画像処理方法を実現するコードが記憶された記憶媒体。